

2015

国語

注 意

1. 試験時間は、8:50～9:40の**50分**です。
2. 問題は㊦から㊨まであります。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

— 1 —
次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「僕」は小学四年生で、ヤンチャとノリオ、ハム太という、生涯の友と呼べる三人がいる。夏休みが終わる頃、ヤンチャが原因不明の病気で入院した。「僕」は、未来からヤンチャの病気を治せる医者連れて来ようと、タイムマシンを作ることと思い立つ。ノリオとハム太は本気にしなかったが、入院中のヤンチャが興味を示し、最初に乗せてくれと言ったため、ヤンチャの励みになるならと製作することになった。使われていない倉庫の秘密基地に通いつめ、古いバスタブや自動車の廃材を集めて、三人はタイムマシンを作っていた。

僕らのタイムマシンが完成したのは、クリスマス・イブの前の日のことだった。

できあがったタイムマシンに、僕は大きなリボンをかけて、記念撮影をした。三人でいっせいに、

「はっしーん！」

と叫んでいる瞬間の写真だ。

タイムマシン本体を病院まで運んでいくことはできないけれど、せめて写真だけでも、ヤンチャへのクリスマス・プレゼントにするつもりだった。

二日ぶりに会うヤンチャに早く写真をみせてやりたくて、僕は秘密基地から病院までヨイドンをした。ヤンチャがいたらダントツで一番だったろうけれど、僕とノリオはいい勝負だった。見えないくらい後ろから、ハム太がせいいいのどを鳴らして追いかけてきた。

息を切らしたままヤンチャの病室にかけ込むと、窓際のヤンチャのベッドはきちんと整頓されて、誰も寝ていなかった。

一瞬、部屋を間違えたのかと思った。でも、右側のおじいさんたちも、ヤンチャの隣のおっちゃんも、確かに同じ顔ぶれだ。ものすごくいやな感じが僕を襲った。①首筋の毛が、ぜんぶ逆立つ。

「……ヤンチャは？」

と僕は言った。②自分の声が、どこか遠くから聞こえるような気がした。

やっと追いついてきたハム太が、空のベッドを見て、

「あれ、ヤンチャのやつ、退院したのか？」

と言った。

おっちゃんは黙って僕らを見た。それから、ゆっくりと首を横に振った。

「そ……んな……」

（信じない、そんなこと絶対に信じないぞ）

思うのに、勝手に口が動く。

「……いつ？」

「今朝だよ」と、おっちゃんは言った。「明け方、ひどい発作を起こしてね。あのやろ、ずいぶん頑張ったけど——だめだった」

僕は、じりじり後ずさりした。からっぽのヤンチャのベッドに背中を向けたが最後、何もかもが本当のことになってしまふ気がした。

と、ノリオが突然「ウツと変な声をもらし、そのまま廊下を走り出した。」

「待てよ！」

ハム太が後を追う。ばたばたと遠ざかっていく足音を聞きながら、おっちゃんは僕の顔をじっと見て口元をゆがめ、とても静かに言った。

「間に合わなかったな。おめえらのタイムマシン」

③そのとたん、我慢が限界にきた。僕は二人を追いかけて病院の外へ飛び出した。たったいま笑いながら走ってきたばかりの土手の道を、僕はうっむいて歩いた。涙でまわりのものがみんなぼやけ、道端の小さな石ころに何度も蹴つまずいた。

悔しかった。こんな仕打ちがあつてたまるかと思った。どうしても納得できなかった。ヤンチャのやつにしたって、あんまり水くさずぎる。おととい会った時は普通に話していたのに、なんでこんなに急にいつてしまうんだ。なんで僕らに一言のあいさつもなく消えたりできるんだ。ひどいじゃないか。あんまりじゃないか。

これからどうすればいいのか、自分では何も考えられなかった。先に立って早足でどんどん歩いていくノリオの後を、よろよろと追いかける。

たどりついた先は、やっぱり秘密基地だった。裏口から入るなり、ノリオはセーターの袖口で顔をぬぐって、結んであつたりボンを荒々しくほじいた。

「おい、何する気だよ」

とハム太。

フタを引き開けながら、ノリオは振り向きもせず言った。

「きまつてるだろ。これは何だよ。オレたち、何を作ったんだよ」

「え……えええっ？」ハム太の声が裏返った。「け、けど、こんなもんが今さら何の役に立つのさ」

ノリオが黙って中に入る。

「おい、ノリオってば！」ハム太は必死になって言った。「たとえこれが本物だったとしたってさ、ヤンチャはもう……もう、いないんだぜ？ 未来から誰を連れてきたって手遅れじゃないか」

「そんなことない！」ノリオは怒鳴った。「今日より前の世界に戻ってくればいいんだから」

「何言ってるんだよ、さっぱりわかんないよ」ハム太が泣き声を出す。「ちゃんと説明してくれよ」

「だから！ ヤンチャが死にまうより前の世界に戻ってくればいいんだ。そうすれば、ヤンチャにはもう一度チャンスがある。もしかしたら今度は死なないですむかもしれないじゃないか」

「そうか！」

④ 思わず叫んだ僕の声に、ハム太がびくつとなる。

「そうだよ、何もわざわざ『今日』めがけて戻ってこなくてもいいんだ！ 『昨日』にだって、その前にだって、ヤンチャが元気な頃や、僕らが赤ん坊の頃にだって、好きな日や好きな時間をめがけて戻ってくる事ができるんだ。なんだって……なんだってこれは、タイムマシンなんだからな！」

「何言ってるんだよ、おい、落ち着けよ。どうしちゃったんだよ二人とも」

ハム太が「おろおろ」と止めるのもきかずに、ノリオはばたんとフタを開けてしまった。くぐもった声の中から叫ぶ。

「こげよ、ワタル！」

その時にはもう、僕は自転車に飛び乗っていた。スタンドを立てたままの自転車のペダルを踏み込む。力いっぱいこぐ。ヴウウウイイイインンン、という音とともに、薄暗い倉庫の中に色とりどりの電球がびかびか灯っていく。自転車の振動が伝わって、タイムマシン全体が小刻みに揺れ始める。

⑤ 「発進！ 発進！ 行け！ 行け！ 行けッ！」

「心に唱えてこぎ続けながら、僕はノリオの閉めたフタを凝視した。ハム太も、口をあけて固まったまま見つめている。ノリオはもう

未来の世界に着いたのだろうか。僕らはどうすればそれを知ることができるのだろうか。その瞬間——
ぎよつとなった。

いったいノリオは、どうやってあつちの世界から戻ってくるつもりなのだろうか？ タイムマシンはここに一台あるだけで、あつちの世界にはないというのに……どうしてそのことに、今まで誰も気がつかなかったのだろうか！

僕は、ハム太を見た。ハム太がおびえた目で僕を見ている。

⑥ 僕が自転車から飛び降りると、ハム太がフタに飛びつくのは同時だった。

「ノリオッ！」

僕らは力まかせに引き開けた。中には——

中には……あたり前の話だけれど、出発した時と同じかつこうのノリオがしゃがみこんでいた。薄汚れたバスタブの底から、ノリオが唇を変な形にゆがめて僕らを見あげる。

「……………」

僕らは、気まぐしく目をそらした。⑦ ほこりと涙の筋でまだらになったお互いの顔を、今は見たくなかった。

だんだんと、車輪の回転がゆるやかになっていく。

チキチキチキ、カラカラカラ……

みるみるうちにライトの輝きが薄れていく。

ありったけのネジや電球にまみれ、無意味なハンドルや時計やタイヤをこちゃこちゃと取りつけられたボリのパスタブは、こうしてあらためて見ると、ひどくグロテスクな姿をしていた。〈派手な車〉どころか、何だか、たちの悪いジョークみたいだった。

チキ……チキ……チキ……

弱々しいオレンジ色の光が天井近くの高窓から斜めにさしこんで、僕らの無残な失敗作を照らしだす。

僕は、高窓を見上げた。

ひび割れたガラスの向こうに、空が広がっていた。

見たこともないほどきれいな夕焼けだった。

問一 波線部 a、c の意味として最も適当なものを、それぞれ選んで記号で答えなさい。

a 水くさすぎる

ア 無神経で思いやりがない
イ 親しいせいで遠慮がない
ウ 仲がこじれて感じが悪い
エ 他人のようにそっけない
オ やさしさが過ぎて嫌みだ

b おろおろと

ア 急いでさえぎる様子
イ あわてとまどう様子
ウ うろうろと歩く様子
エ 必死で説得する様子
オ 心配し気づかう様子

c 気まずく

ア 互いに気持ちが合わない状態
イ 気分が落ち込み晴れない状態
ウ 二度と会いたくなくなる状態
エ 楽しい気持ちになれない状態
オ お互いの誤解が解けない状態

問二 傍線部①「首筋の毛が、ぜんぶ逆立つ」とありますが、なぜそうなったのですか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア はっきりしないことにいら立ってしまうから。

イ 耐えられないほどの恐怖に身体が縮んだから。
ウ 心配のあまり身体が思うようにならないから。
エ あまりに不安で落ち着いてはいられないから。
オ 考えたくもない悪い予感で寒気を感じたから。

問三 傍線部②「自分の声が、どこか遠くから聞こえるような気がした」とありますが、ここからは「僕」のどのような状態がわかりますか。「状態」に続ける形で、十五字以内で答えなさい。

問四 傍線部③「そのとたん、我慢が限界にきた」とありますが、何を我慢していたのですか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 怒りから、まわりの人を責めたい気持ち。
イ 悲しさから、わっと泣きだしたい気持ち。
ウ 認めたくなく、部屋から逃げたい気持ち。
エ 悔やまれて、自分を許せずにいる気持ち。
オ やりきれず、何かのせいになりたい気持ち。

問五 傍線部④「思わず叫んだ僕の声に、ハム太がびくつとなる」とありますが、ハム太はなぜびくつとしたのですか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 自分だけが反対し仲間はずれになりそうだから。
イ いつもは静かな「僕」が叫んだので驚いたから。
ウ タイムマシンを信じていないことがばれたから。
エ 「僕」まで気が変になったのかとおそれたから。
オ ヤンチャの命より自分が大事だと気づいたから。

問六 傍線部⑤「一心に唱えてこぎ続けながら、僕はノリオの閉めたフタを凝視した」からわかる「僕」の気持ちを、「ヤンチャ」という言葉を必ず用いて、三十字以内で答えなさい。

問七 傍線部⑥「僕が自転車から飛び降りるのと、ハム太がフタに飛びつくのは同時だった」とありますが、どうしてそうしたのですか。二人の気持ちをふまえて簡潔に説明しなさい。

問八 傍線部⑦「ほこりと涙の筋でまだらになったお互いの顔を、今は見たくなかった」のはなぜですか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 調子に乗って未来へ行けると信じてしまい、止められなかったことをお互いに恥ずかしく思うから。
イ 奇跡を願って真剣にタイムマシンを作ったが、現実の前に敗北したことをあらためて思い知るから。
ウ はじめから失敗するとわかっていて取り組み、馬鹿げたことをしたとしみじみ後悔してしまうから。
エ 自分が原因で失敗したと認めたくないが、お互いを見ていると自分のせいだと痛感してしまうから。
オ タイムマシンを作るにはまだまだ未熟なのに、自分たちの力を過信していたと確認してしまうから。

問九 文中の□の「突然」が直接かかっている言葉を、そのまま抜き出して答えなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

古代の日本にも環境破壊はありました。地震、津波、落雷、日照り、寒波、火事、伝染病などです。この内のあるものは自然災害で、あるものは人為的な災害です。このようなことを「一体のもの」として考え、自然は人間に比べて、比較にならないほど大きいととらえてきました。

「自然の中の不完全な人間」というのが日本人の自然観ですから、たとえば「河童（カッパ）」という想像上の動物を作り出し、水が原因

で死んだり不幸になったりすると「河童のたたり」として処理してきました。

そのときに、本当に河童という化物を信じて、それが河童の責任だと本当に思っているわけではありません。本当は自然の猛威と人間の間抜けさで起きているのだけれど、それを正面から受け止めるより、少し斜交に構えた方がよいと日本人は考えるのです。

これに対して、ヨーロッパでは正面から自然や動物と対決します。それは「人は神に似せて創造された」「神は人と契約をしている」というキリスト教の影響もありますが、1 ヨーロッパの自然は日本よりずっと厳しいので、対決しないと生きていけなかったからでもあります。

そこで、自然は人間が征服するものであり、人間以外の生物は人間に従属すべきものとしてとらえられます。だから、「自然が破壊される」というのはとりも直さず「人間が自然を破壊し、それが人間に被害を与える」ということで、別の表現をすれば「自然は人間が征服するものだから、客観的に自然が破壊される」ということはなく、人間に被害を与えて初めて自然が破壊される」ということになります。世界の他の国、特に暖かい地方では「自然破壊」というのはそれほどハッキリと認識されているわけではなく、なにかの異変は神の怒りとされることも多いのです。

いずれにしても、自然と生物、人間が一体であるという感覚の国に、ヨーロッパのまったく異なる思想が持ち込まれ、それを十分に咀嚼せずに、「環境破壊」や「持続性社会」という言葉だけ輸入した形になってしまったのが②日本の不幸なのです。

③ヨーロッパ流に環境破壊をとらえれば実に簡単で、「環境破壊とは、自然の状態が人間にとって不都合になること」であり、それも「神ではなく」人間の行動によるものに限定される」ということです。

だから、太陽活動が停滞して寒冷期を迎えた17世紀のヨーロッパは気候変動で大変でしたが、それは「環境破壊」ではありません。また20世紀の温暖化もし太陽活動なら同じ気温の上昇でも環境破壊に入りませんが、人間が排出するCO₂なら環境破壊になるということです。生物多様性も同じで、自然の寒冷化で生物が絶滅するのは「神の御業」ですから環境破壊とは呼べないのですが、人間が生物を殺戮するのは環境破壊ということになります。

お隣の中国では昔からフタを食用に多用しますが、かつての日本では豚肉を食べる習慣がなく、その代わりに時々、イノシシを捕って食べました。

ヨーロッパ、中国、日本、それぞれの国が正しいということはないのですが、自然や生物に関する感性が違うのは仕方ありません。このような背景を頭に入れて、環境破壊という問題を考えてみると、Xに言わせれば「人間以外の生物!? なに言っているの」と

いうことですが、**Y**は「シロクマさんが可哀想だ」ということになります。

ただ、もう一つややこしいのは、ヨーロッパ人というのは「**④**本音」をそのまま言うことは少なく「世界が納得できる理由」を前面に出します。たとえば、「地球温暖化を防ぐ」という提案をするときに「ヨーロッパが温暖化で被害を受けるから」とは言いません。ヨーロッパは平均的な緯度が日本の北海道くらいですから、温暖化するのはむしろ良い方向です。

だから「温暖化すると南の開発途上国が被害を受ける」という理由を言います。しかし、よく考えればわかることですが、国際政治の世界で自国の不利になることを他国のために提案することはありません。まして、南の開発途上国が温暖化防止に反対しているのですから、**2** そんな提案をするはずもないのです。

このようなことから、ヨーロッパ人（アメリカ人も含む）が「生物多様性が大切だ」と言うときには「本来、人間のために生きている生物は、人間のためになるようにできるだけ多様な方がよい。その方が、食糧（種など）にしても、薬品にしても、景観上も好ましい」という意味です。

この節で人間と自然の関係を考えてきましたが、日本的な考えでは、人間は自然の一部であり、人間がなにをしても自然や生物が困ることとは**3** ありません。ただ、人間自体が困ることがあり、それを環境破壊ということがわかりました。

そこで、環境破壊を止めるためには、人間が自分でやって自分で被害を受けるものに限定されているので、環境破壊は「フランケンシュタインの子供（自ら生み出したものに恐れおののくこと）」でもあるのです。

人間活動による生物の絶滅は、人間の活動によるという点で環境破壊になりますが、それが人間に被害を与えるかどうかという観点から見れば環境破壊ではないと考えられます。

『生物多様性のウソ』武田邦彦の文章による

（注1） 人為……人の手を加えること

（注2） 斜交に構える……真正面から向き合わずに、少し斜めから向かうこと

（注3） 咀嚼……よく考えて意味を正しく理解すること

（注4） 神の御業……神様のなさったこと

（注5） フランケンシュタイン……小説の登場人物の名前で、人造人間を作ろうとして失敗した人物

問一 波線部 a「破壊」・b「客観」の対義語を漢字二字でそれぞれ答えなさい。

問二 空欄 **1** **3** に入る語を次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

ア ひたすら イ なおさら ウ ほとんど エ あらゆる オ もともと

問三 人と自然の関係を、日本人とヨーロッパ人は、それぞれどのように考えていると筆者は説明していますか。本文中の言葉を使って、それぞれ二十字以内で答えなさい。

問四 傍線部①『河童のたたり』として処理してきました」とはどういうことですか。その内容を示す部分を本文中から三十五字以内で抜き出し、その初めと終わりの五字を答えなさい。

問五 傍線部②「日本の不幸」とはどのようなことですか。それを説明したものと最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 日本とは異なる思想から生まれた「環境破壊」という考え方をヨーロッパから強制されていること。

イ 日本とは正反対の考え方である「環境破壊」や「持続性社会」という言葉をまったく理解できていないこと。

ウ 日本とは違うヨーロッパの「環境破壊」という考え方を受け入れ、今までの日本的な自然観を放棄してしまったこと。

エ 日本とは相容れないヨーロッパの考え方に基づく「環境破壊」という語を受け入れ、混乱が生じていること。

オ 日本とは完全にかき離れているヨーロッパの「環境破壊」という考えを受け入れるのは、到底不可能なこと。

問六 傍線部③「ヨーロッパ流に環境破壊をとらえれば」とありますが、次のア～オの中で「ヨーロッパ流」にとらえた時に環境破壊に当た

- たるものにはA、当たらないものにはBを答えなさい。
- ア 生活のために多くの木が伐採されて、砂漠化が進行する。
イ 火山が噴火し、大量の火山灰が空中に滞留して気温が下がる。
ウ 大量の工場用水が排出されて、海が汚染される。
エ 火の後始末をしなかったために、多くの家が焼け落ちる。
オ 家畜を殺していたオオカミを殺し、絶滅に追いやる。

問七 空欄 X Y には「日本人」・「ヨーロッパ人」のどちらが入るか、答えなさい。

問八 傍線部④「本音」とありますが、ヨーロッパ人の環境問題に関する「本音」とはどのようなものですか。三十字以内で説明しなさい。

問九 本文の内容を説明したものとして不適当なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 今まで日本人は自然の災害と人為的な災害を区別せず、同じ環境破壊と考えてきた。
イ かつての日本人は河童という想像上の動物を信じることで、自然の猛威に立ち向かった。
ウ 国によってそれぞれ食べるものが違うように、自然や生物に関する感性は異なってくる。
エ ヨーロッパ人は建前として、開発途上国のために地球温暖化防止をするべきだと主張する。
オ 環境破壊とは人間自身の行為で自然を破壊し、それによって人間が被害を被るものを指す。

三 次の①～⑤の傍線部を漢字に改めなさい。

- ① 新しい薬が効果をオサめる。
② ハクアイの精神を持って、敵味方のへだてなく治療を行う。
③ 正々堂々と戦う彼の姿はインシヨウ的だった。
④ クラスの生徒がイチガンとなって試合にのぞむ。
⑤ 秋になってカンシヨウ的な気分になる。

注意 字数制限の問題では、句読点も一字として数えます。

問九	問八	問七		問六		問五	問四	問三	問二	問一
										a
										b
									c	
								状態		

得 点	
-----	--

[illegible]

受 験 番 号	フ	リ	ガ	ナ
	氏 名			

①	め る	②	③	④	⑤